

ミナセン東京20区がはじまった！

生活者の声、届いてる？

安保法制や自民党改憲案 ほんとにそれでいいの？

反対の声をあげていた人 漠然と不安を感じていた人が
全国で声をあげはじめました

政治に参加する最も身近な手段「選挙」

私たちの声を国会へ届けよう

自分の住んでいる地域から始めようと

フツウの市民が立ち上がる！

ミナセン東京20区 始動！

仲間になってください！

安倍政権暴走に歯止めを！

いろんな違いを超えて、大きな連帯が生まれようとしています

ミナセン東京20区のことを知ってください

同封の報告書でミナセンの空気、感じてください

趣意書を読んでみてください

あなたの連絡をお待ちしております！

電話 080-5503-9339 小林 080-6816-0638 高橋

メール minasentokyo20@gmail.com

ブログ <http://minasentokyo20.blogspot.jp>

facebook 「ミナセン東京20区」で検索

twitter @minasentokyo20

キックオフイベント5月15日 「市民が主役！演説会」報告書

立ち上がったはいいけど、何をしたらいいのか？どうやるのか？フツウの市民が集まって「どうやったら野党共闘できるのか」なんて話しているんだもの。話はあっちへいったりこっちへいったり、簡単じゃない。でも、ここから何か始まるはず…！その思いがミナセン東京20区を作り上げた。

初めてのイベントは「市民が主役！演説会」5月15日東村山サンパルネホール。今の政治に物申すために立ち上がったグループ。ならば市民が物を申そうではないか、と。市民が主役！本来の民主主義を感じられる、熱いキックオフ。

日曜の夜にも関わらず、会場には中学生から80代まで100人以上の人が集まった。そして今回はなんと政治家は「聴き手」として参加。国政政党から地元の議員まで、いつもは壇上で話している人たちが、市民の声を聞くためにやってきた。

語る市民は30代のパパママから、働き盛りのサラリーマン、普段声をあげることのできない介護の現場にいる人…と様々。それぞれが自分の言葉で語った。当事者しか語ることのできない重みのある言葉。会場は話に引き込まれ、政治家達はメモを取る手を休めることはなかった。そして政党の代表者たちからも市民にメッセージが語られた。濃密な時間。

市民スピーカーの持ち時間は5分。時間が来るとチーン！とおどけたチャイムが鳴り、笑いを誘う。チャイムはミナセン代表の自転車のベルだったと会場の何人が気付いていただろうか。涙が出てしまうくらいの真剣な思いを語りながら、でもこうして愉快地笑ってしまう。デコボコしている温かい雰囲気。

市民が主役！演説会が拍手のうちに幕を閉じた時、大役を終えた市民スピーカー達は、なんだかキラキラしていた。自分の思いを、言葉にできたこと、受け止めてもらえたこと、仲間ができたこと。聞いていただけの参加者も、熱っぽく語り合いながら会場を後にした。スピーカー達が自分と同じフツウの人だったから。そこであがっていた話はまさに、自分たちのことだったから。

イベントとしては準備不足だらけで、手作り感満載だった。でもその「スキマ」がみんなをワクワクさせたし、盛り上げた。語り合いが始まった！民主主義がはじまった！ついに私たちの地元でも。今までの「市民活動」と違うみたい…！その空気を感じてください。どんどん広めてください。そして仲間になってください！